

ドイツ語 (初級 B) 第 27 回 zu 不定詞

範囲: 教科書第 16 課 B (S. 64-66)

《今回の基本例文》

96. Ich hatte die Gelegenheit, Frau Meier kennenzulernen. (CD83-3)

私はマイヤーさんと知り合う機会を持った。

[zu 不定詞の付加語的用法、zu 不定詞 (分離動詞)]

97. Wir gingen ins Café, um gemütlich zu plaudern. (CD84-1)

くつろいでおしゃべりするため、私たちはカフェに入った。

[um+zu 不定詞]

98. Kann man den Direktor jetzt sprechen? – Nein, er ist jetzt nicht zu sprechen.

(CD85-1)

いま部長にお目にかかれますか? – いえ、いま部長はお会いできません。

[sein+zu 不定詞]

I 不定詞の基礎

B. 不定詞の用法 (S. 64)

■ 不定詞と不定詞句のまとめ

不定詞句 (一般) : 修飾句 - 目的語/述語内容語 - 動詞の不定詞

完了不定詞 : 修飾句 - 目的語/述語内容語 - 過去分詞 - haben / sein

受動不定詞 : 修飾句 - 過去分詞 - werden

◇ ごく初期の授業で、ドイツ語の文の基本構成要素である**不定詞句** (動詞の不定詞に目的語や修飾句を組み合わせたもの) について学んだ。不定詞句の語順は日本語に近く最後を動詞の不定詞とすることについても、すでに述べた。 (⇒教科書 S. 9、授業第 3 回配付資料 S. 1-2)

Deutsch lernen ドイツ語を学ぶ

sehr fleißig Deutsch lernen 極めて熱心にドイツ語を学ぶ

(修飾) (目的語) (不定詞)

◇ 過去を言う不定詞句、受動を言う不定詞句は、

・ **完了不定詞** (不定詞の過去形、「～した」) : **過去分詞 haben / sein** (⇒教科書 S. 50)

* もちろん、haben / sein の使い分けは、その動詞が haben 支配か sein 支配かに従う。

・ **受動不定詞** (不定詞の受動態、「～される」) : **過去分詞 werden**

Deutsch gelernt haben (haben 支配の場合) ドイツ語を学んだ

nach Berlin gefahren sein (sein 支配の場合) ベルリンに行った

von meinem Vater geliebt werden 私の父によって愛される

■ zu 不定詞のつくり方

zu 不定詞 ← 不定詞の一つ前に前置詞 **zu** を挿入

◇ いま説明した不定詞句を文中で「**~すること**」の意味で使うには、基本的には不定詞の前に前置詞 **zu** を挿入して **zu 不定詞** とすることが必要である。

* 英語の *to* 不定詞に相当する。ただし、例によって語順はまったく異なる。

Deutsch **zu** lernen ドイツ語を学ぶこと

= *to learn German*

sehr fleißig Deutsch **zu** lernen 極めて熱心にドイツ語を学ぶこと

= *to learn German very diligently*

* ドイツ語の **zu** 不定詞と英語の *to* 不定詞の語順の違いを比較せよ。

◇ 完了不定詞を **zu** 不定詞にするときは **haben** や **sein** の前に、受動不定詞を **zu** 不定詞にするときは **werden** の前に **zu** を置けばよい。

Deutsch gelernt **zu** haben ドイツ語を学んだこと

nach Berlin gefahren **zu** sein ベルリンに行ったこと

von meinem Vater geliebt **zu** werden 私の父によって愛されること

◇ 分離動詞を **zu** 不定詞にするときは、前綴りと基礎動詞のあいだに **zu** を挿入して一続きに書く。

an|kommen 到着する

→ an**zu**kommen 到着すること

teil|nehmen 参加する

→ teil**zu**nehmen 参加すること

* 真ん中に **zu** が挿入されるので、分離動詞の過去分詞 (真ん中に **ge** が挿入される) と似たかたちとなる。

** 非分離動詞は、verstehen → **zu** verstehen のように、普通に **zu** 不定詞化すればよい。

練習 1

[] 内の語彙を参考に、日本語の意味になる **zu** 不定詞をつくれ。

1. 中国語を学ぶこと [Chinesisch *n.* 中国語]
2. 物理学を研究すること [Physik *f.* 物理学 studieren *vt.* 〈4格〉を研究する]
3. 疲れていること [müde *adj.* 疲れた sein *vi.* である]
4. 極めてよくドイツ語を話すこと [sehr *adv.* 極めて gut *adj.* よい]
5. 明日ベルリンに行くこと [morgen *adv.* 明日 fahren *vi.* 行く]
6. 明日ミュンヘンに到着すること [an|kommen *vi.* 到着する]
7. 私にすぐにその本を返すこと [sofort *adv.* すぐに zurück|geben *vt.* 〈3格〉に 〈4格〉を返す]
8. 会議を開始したこと [Sitzung *f.* 会議 an|fangen *vt.* 〈4格〉をはじめ]
9. もう帰宅したこと [schon *adv.* もう nach Haus gehen 帰宅する]
10. 警察に逮捕されること [Polizei *f.* 警察 verhaften *vt.* 〈4格〉を逮捕する]

1 zu のない不定詞

◇ いくつかの場合には、**zu なし不定詞** (英語でいう原形不定詞) をそのまま「~すること」の意味で使用できることがある。それは、

- ・ ことわざなど慣用表現の場合。

Irren ist menschlich.

過ちは人の常 (*To err is human.*)。

- ・ 動詞一語の語頭を大文字にして**中性名詞扱い**にする場合。英語の動名詞 (-ing) に近い。こうした zu なし不定詞は、中性の定冠詞 (1格なら **das**) をともなう場合もある。

Mein Hobby ist [das] Lesen.

私の趣味は読書です。

Er übte mit den Kindern [das] Rechnen.

彼は子供たちと計算の練習をした。

◇ 中性名詞扱いの zu なし不定詞を用いた重要表現としては、以下のものがある。

- * こういった表現は知っていれば便利ではあるが、初学者が優先的に覚えるほどでもない。

- ・ **beim + zu なし不定詞**: 「~する際に」

- * beim は bei dem の融合形で、中性3格の定冠詞 dem が入っているのは、前述の通り zu なし不定詞は中性名詞であるため。

- ・ **gerade beim zu なし不定詞 sein**: 「ちょうど~しているところである」

- * ドイツ語には進行形がなく、英語の進行形は一般に現在形や過去形で代用するが、どうしても「ちょうど~しているところである」と言いたい場合、この表現を使えばよい。

Sie war gerade beim Kochen.

彼女はちょうど料理をしているところだった。

- * 英語の過去進行形 (*She was just cooking.*) に相当。

- ・ **zum + zu なし不定詞**: 「~するために」

- * やはり zum は zu dem の融合形であり、中性3格の定冠詞 dem が入っている。

Packen Sie bitte die Pizza zum Mitnehmen ein!

持ち帰り用にピザを包んでください。

- * mit|nehmen は分離動詞 ((4格) を持ち帰る)。また、主文でも分離動詞 ein|packen ((4格) を包装する) が使われている。

- ** いわゆる「店内でお召し上がり」に対する「お持ち帰り」を依頼している文。ドイツでは以前から後者では軽減税率が適用されていたが、日本でも2019年以来、同種の問題が出てきた。

- *** 「店内でお召し上がり」に関しては、日常会話では zum Hieressen が使われることが多いようである。*hier|essen という分離動詞は本来ないのだが、zum Mitnehmen からの類推でそう言われているらしい (あまり正しいドイツ語ではないかもしれない)。

II zu 不定詞の用法

2 zu 不定詞 (S. 65)

◇ 英語の *to* 不定詞は、名詞用法、形容詞用法、副詞用法の 3 つで説明されることが多い。

- ・名詞用法: *To learn German is not easy.* (ドイツ語を学ぶことは簡単ではない。)
- ・形容詞用法: *He is not a man to tell a lie.* (彼は嘘をつくような人ではない。)
- ・副詞用法: *He went to Berlin to see the sights.* (彼は観光するためにベルリンに行った。)

教科書ではドイツ語の *zu* 不定詞の用法を**主語**、**述語内容語**、**目的語**、**付加語**の 4 つとしているが、

- ・名詞用法 → 主語、述語内容語、目的語
- ・形容詞用法 → 付加語
- ・副詞用法 → 単体ではなし。*in order to* にあたる *um ... zu* 不定詞 (後述) を用いる。

◇ a) **主語用法**は、「～すること」を表す *zu* 不定詞を文の主語とする用法。ただし、主語が長くなるのは好まれないため、**仮主語の *es*** を使うときが多い。その場合、*zu* 不定詞は枠構造の外に出される。

* 仮主語 *es* を使うのは、従属の接続詞のときと同じ。(⇒教科書 S. 35)

Viel zu rauchen ist nicht gut für die Gesundheit.

= **Es** ist nicht gut für die Gesundheit, viel zu rauchen.

たくさん喫煙するのは健康によくない。

* 後者の文でも、本来の主語は *viel zu rauchen* である。

◇ b) **述語内容語用法**は、「～すること」を表す *zu* 不定詞を文の述語内容語とする用法。もちろん、述語内容語をとる自動詞 (*sein, werden, bleiben...*) とともに用いられる。

Sein Wunsch ist, seinen Sohn studieren zu lassen.

彼の望みは、息子を大学に行かせることである。

* 使役動詞 *lassen* を用いた使役の不定詞句 *seinen Sohn studieren lassen* の *zu* 不定詞。(⇒教科書 S. 31)

◇ c) **目的語用法**は、「～すること」を表す *zu* 不定詞を文の目的語とする用法である。もちろん、4 格目的語をとる他動詞とともに用いられる。この場合、**仮目的語の *es*** を先行させるのが好まれる。

Ich habe **es** schon aufgegeben, ihn telefonisch zu erreichen.

私は彼を電話でつかまえることをもうあきらめた。

* 仮目的語 *es* が入っているため、本来の目的語である *ihn telefonisch zu erreichen* は枠構造の外に出されている。

◇ c) 目的語用法のうち、***zu* 不定詞が動詞+前置詞による熟語の目的語となる場合、前置詞と人称代名詞の融合形**を先行させるのが普通。前置詞と仮目的語 *es* (= 人称代名詞の一種) が融合形となるため。

Ich freue mich **darauf**, in den Ferien an die See zu fahren.

← Ich freue mich **auf** *es* → **darauf**, in den Ferien an die See zu fahren.

私は休暇で海辺に行くのを楽しみにしている。

* この文は *auf et. sich freuen* ((4 格) を楽しみにしている、⇒教科書 S. 53) を用いているが、*et.*の部分に仮目的語 *es* を入れると、Ich freue mich *auf *es*...となる。しかし、ドイツ語では *auf *es* は自動的に前置詞と人称代名詞の融合形 *darauf* に化けてしまうことになる (⇒教科書 S. 27)。

◇ d) **付加語用法**は、文中の一つの名詞を zu 不定詞句で修飾する用法である (「~する...」)。付加語用法の zu 不定詞は原則として直前の名詞を修飾するが、zu 不定詞句が長くなる場合、やはり梓構造の外に出して修飾される名詞から離れることがある。

Haben Sie Lust, an der Versammlung teilzunehmen?

あなたは集会に参加する気がありますか。

* an der Versammlung teilzunehmen が Lust を修飾。この zu 不定詞は長いため、コンマで区切られている。

Soll ich etwas zu trinken holen?

なにか飲み物を取ってきてやろうか。

* 一方、こちらの zu 不定詞は動詞一語 zu trinken であるため、コンマがない。

** zu trinken が etwas を修飾。英語の something to drink に相当。

◇ なお、英語では、前置詞 for によって to 不定詞に文の主語とは別の意味上の主語をつけることができる。一方、ドイツ語の zu 不定詞には、このような用法はない。

2 (続き) 前置詞+zu 不定詞

◇ e)にあるのは、特定の**前置詞と zu 不定詞を結んだ熟語表現**である。前置詞はその zu 不定詞全体の直前に置かれる。

	前置詞+zu 不定詞	意味	(英語)
1)	um ... zu 不定詞	~するために	in order to-inf.
2)	ohne ... zu 不定詞	~することなしに	without -ing
3)	[an]statt ... zu 不定詞	~する代わりに	instead of -ing

◇ 教科書の例文の説明。

Er ging an die Universität Bonn, um Chemie zu studieren.

彼は化学を学ぶためにボン大学に行った。

Sie leben zusammen, ohne verheiratet zu sein.

彼らは結婚せずに一緒に暮らしている。

* verheiratet は verheiraten (4格) を結婚させる) の過去分詞に由来する形容詞「結婚した」。 (⇒教科書 S. 46)

Er rief mich an, statt mir zu schreiben.

彼は手紙を書く代わりに電話をしてきた。

* この schreiben は自動詞「3格」に手紙を書く。

2 (続き) 動詞+zu 不定詞

◇ f)~h)にあるのは、特定の**動詞と zu 不定詞を結んだ熟語表現**である。

	動詞+zu 不定詞	意味	(英語)
f)	sein+zu 不定詞	~されうる(受動の可能)、されねばならない(受動の義務)	be to-inf.
g)	haben+zu 不定詞	~しなければならない(義務)	have to-inf.
h)	brauchen+zu 不定詞	~する必要がある	need to-inf.
	scheinen+zu 不定詞	~のように思われる	seem to-inf.

◇ f) **sein+zu 不定詞**は、**受動の可能** (「~されうる」) もしくは**受動の義務** (「~されねばならない」) を表す受動的表現であり、**können** や **müssen** などの話法の助動詞で書き換えることができる。

(受動の可能) Ist Herr Müller zu sprechen?

ミュラー氏とお話できますか。(ミュラー氏は話しかけられることができますか。)

* この **sprechen** は「〈4格〉と話す、〈4格〉に話しかける」の意味。

(受動の義務) Die Miete ist im Voraus zu zahlen.

家賃は前払いされなければならない。

* **im Voraus** は「あらかじめ、前もって」。

◇ g) **haben+zu 不定詞**は**義務** (能動の義務、~しなければならない) を表し、**müssen** などの話法の助動詞で書き換えられる。英語の *have to...* とまったく同じ。

Wir haben noch eine Stunde zu fahren.

= Wir müssen noch eine Stunde fahren.

私たちはもう一時間走らなければならない。

◇ h) **brauchen+zu 不定詞**は「~を必要とする」、**scheinen+zu 不定詞**は「~のように思われる」。

Ab morgen brauchen Sie nicht mehr zu kommen.

あなたは明日からもう来なくてよい。

Er scheint die Verabredung vergessen zu haben.

彼は約束を忘れたようである。

* 完了不定詞 **die Verabredung vergessen haben** (約束を忘れた) の **zu 不定詞**。

練習2

zu 不定詞を用いてドイツ語作文をせよ。その際、[] 内の語彙を用いること。

1. *To learn German is not easy.* [**leicht adj.** 簡単な]
2. 私の希望は大学で物理学を学ぶことである。[**Physik f.** 物理学 **studieren vt.** 〈4格〉を専攻する]
3. 彼は明日、早起きするつもりだ。[**vor|haben vt.** 〈4格〉を計画する **früh auf|stehen** 早起きする]
4. *He is not a man to tell a lie.* [**lügen vi.** 嘘をつく]
5. *He went to Berlin to see the sights.* [**die Sehenswürdigkeiten besichtigen** 観光する]
6. ドイツ語を学ばずにドイツに行くな。[**fliegen vi.** (飛行機で) 行く]

練習問題の補足

Übung 2 (S. 66)

3. **an jm./et³. vorbei|gehen** は分離動詞の自動詞で、「〈3格〉のかたわらを通り過ぎる」の意味。

連絡先など

教員のメールアドレス: tokan@nifty.com 授業のウェブサイト (進捗表示、配付資料あり): <http://hhasegawa.la.coocan.jp/lecture/>